



# いとうの杜新聞

平成29年1月号

## 新年のご挨拶



介護老人保健施設 いとうの杜／短期入所生活介護 いとうの杜

居宅介護支援事業所 いとうの杜

通所リハビリテーション いとうの杜

2017年1月15日発行 第70号

発行:「いとうの杜新聞」編集部 TEL 0557(35)4165 FAX 0557(35)4101



あけましておめでとうございます。

昨年、介護老人保健施設いとうの杜は、誕生から10周年を迎えることができました。伊東市内で3番目の老健として、2006年11月1日にスタートして以来、地域の皆様のご支援によって、福祉や医療の一環を担う施設として、しっかりとその足場を固めることができました。心より、お礼を申し上げます。

ところで今、世界は、いわゆるグローバリズムに伴う弊害が目立ってきており、保護主義や孤立主義への動きを加速させようとしております。一方で、テロに伴う不安感も広がっております。

そういうなかで、我が国は、超高齢化社会に突入し、福祉や医療に必要な資金不足が深刻化し、介護保険制度や医療保険制度の継続性に赤信号がともり、不透明性、不確実性が一段と増してきております。医療や福祉を取り巻く環境は非常に厳しくなってきています。

こういった時代において、私どもはこれからも、地域の利用者様と共にある施設を目指して、前進する覚悟でございます。皆様方の変わらぬご支援ご指導をお願いいたします。

いとうの杜施設長 福岡 正裕

## お正月

いとうの杜新聞発行も今回で70号となりました。施設内外で起こったささやかな出来事や行事をタイムリーな話題としてお届けして参りました。今後も続けて参りたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

いとうの杜新聞編集長



## 部署紹介

今月はリハビリテーション室の紹介です



室長 理学療法士 佐伯秀一  
主任 吉和田裕資  
大町智香子  
永田琢己  
梶原淑恵  
作業療法士

あけましておめでとうございます。

理学療法士4名、作業療法士1名の美男！？美女！？  
で入所利用者様と通所利用者様を担当しております。

利用者様の日常生活能力の維持向上を身体面、精神面、環境面などから包括的に考え、『リハビリは施設全体で取り組むもの』を念頭に、施設内外への情報収集・発信・共有をこれからも実施し、利用者様から信頼していただける場の提供に一同努めます。

## 門松を作りました

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

私事ですが、実家が埼玉の植木屋(浦和、安行あたりは植木の産地)、次男坊で後を継げずしがないサラリーマンになっているものです(笑)。悔しいので(負けず嫌い)年に一回は植物に触れようと、スペシャルな「門松」を作り自己満足しています。で、今年も作ってみました。材料(竹含む)は実家から無償/内緒で拝借し、「費用は鉢代のみ」という施設にエコな代物です。自己評価は70点、次回はもっと頑張ります。「70数年生きて初めて作った」と一緒に協力いただいた土屋お父さん(通所勤務)に感謝！！



「いとうの杜」は今年も皆で協力し合い、地域一番の施設を目指してまいります。引き続き皆様の温かいご支援・ご協力を心よりお願ひ申し上げます。

事務長 池田 智洋

## まだまだ注意が必要～感染症～

ノロウィルス、インフルエンザ、上気道炎等感染症に対するご理解、ご協力ありがとうございます。  
新年を迎えるにあたり、さらにその勢いは増すことと思われます。当施設としては引き続き感染防止に努めたいと思います。

＜ノロウィルス食中毒の注意事項＞ノロウィルスは食品中では増えず、人の腸管内で増えます。感染すると、吐物やふん便中にウィルスが排泄されるので、ご家庭では次の事項に注意が必要です。

- ①食品への二次汚染を防ぐため、調理前、トイレの後は石鹼でよく手を洗い、ウィルスを洗い流す。
- ②加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱調理をする。特にカキなどの二枚貝の調理時に注意する。  
(85°C~90°Cで少なくとも90秒間以上の加熱)
- ③下痢や嘔吐等の症状がある場合は、食品を直接取り扱う作業を控える。

＜インフルエンザの予防＞インフルエンザの症状は、発熱、頭痛、のどの痛み、咳、全身の倦怠感があります。高齢者は重症化しやすいので特に注意が必要です。ご家庭では以下の点に注意してください。

- ①なるべく人ごみを避ける。外から帰ったらうがい、手洗い、洗顔を励行する。
- ②部屋が乾燥しないよう加湿器等を使って湿度を保つ。
- ③体力が低下しないようバランスの良い食事をとり、十分な睡眠をとる。

感染対策委員会

12月23日(金)

1日早いクリスマス会を開催しました。bingo、職員の出し物(かくし芸!)、お菓子のつかみ取りetc.なかでもお菓子のつかみ取りは特に凄かったです!わっしりと片手で掴めるだけ掴んでいました。手の大きさなんて関係ありませんね。ちょっとしたコツがあるそうです。(途中でお菓子を追加しました)

サンタさんとトナカイさんが最後にプレゼントを配り終了です。約1時間たくさんの笑顔と大きな笑い声がフロアに響き渡り、賑やかなクリスマス会でした。

6階



職員による演奏やサンタとトナカイのプレゼント、ケーキもおいしかったです。満足!満足!

通所



当日は45名と大人数の方に参加していましただき、大勢の笑顔が見られとても楽しい1日となりました。



それぞれの

# MERRY CHRISTMAS

キャンドルサービス



2日遅ましたが、クリスマス会と12月生まれの方のお誕生日会を行いました。施設生活を楽しんで頂こうと、時代劇のDVDをプレゼントさせてもらいました。「面白かった、ありがとう」との声が聞かれました。 2018.12.27

3階



ショートステイでは、クリスマス会＆ケーキバイキングを行いました。○\*クイズで楽しんだ後、クリスマスソングを歌い、プレゼントがサンタさんより送されました。

さあいよいよお待ちかねのケーキバイキングです。回転レーンから流れるいろんなおやつをお腹いっぱい召し上がっていただきました。皆さんの笑顔がたくさん見られたクリスマス会となりました。

クリスマス・イブの夕食時

蠟燭に灯をともし

サンタクロースと共に

聖歌隊がやってきた

聖なる夜

メリークリスマス



5階

## 今月の豆知識

## 頼れる「がん相談支援センター」へ

全国のがん診療連携拠点病院や小児がん拠点病院、地域がん診療病院にはがんに関する相談の窓口である「がん相談支援センター」が設置されている。患者や家族のほか、地域の人々も自由に利用することができ、がんに関する治療や生活について、また予防や検診などさまざまな疑問や状況に応じて相談することができる。

しかし、がん相談支援センターにはいくつかの課題がある。その1つは認知度だ。国立がん研究センター・がん対策情報センターが平成26(2014)年度に実施したがん診療連携拠点病院への調査では、「がん相談支援センターを知っていますか」という質問に対し、「知らない・わからない」と答えた人はがん患者の約4割に上った。インターネットや病院内、また医師の説明等によって認知されることが望まれる。

そして、相談支援センターの質が場所によりばらつきがあるとの指摘もある。職員の配置が足りていない等のケースのほか、相談員の資格要因が厚生労働省の定義では「国立がん研究センターによる研修を修了した者」と明確ではないことも理由の1つである。そのため、国立がん研究センターでは平成27(2015)年より、「認定がん専門相談員」の認定を始めた。がん対策情報センターのEラーニング(講義とテスト)のテストに合格後、がん専門相談員のための講義や演習等の研修を経て認定される制度であり、3年ごとに認定コースを受講し更新する。認定がん専門相談員を2名以上配置した相談支援センターも「認定がん相談支援センター」として認定する。

現段階では厚生労働省が指定する制度ではなく、国立がん研究センターが独自に実施している制度ではあるが、相談者ががん相談支援センターを選ぶ際の指標になる。

The Nutrition & Diet News より

## 栄養科より



あけましておめでとうございます。入所、通所の利用者様のお食事を提供させていただいております日清医療食品です。お一人お一人の食形態に合わせたお食事や行事食・イベント食にも工夫を凝らし、皆様に喜ばれるお食事をめざしております。今後ともよろしくお願ひいたします。お正月の行事食といたしまして、おせちはもちろんの事、松花堂弁当を提供させていただいております。

## 松花堂弁当

お赤飯・白米ともち米と小豆で炊き上げ、花形に抜きました  
まぐろのお刺身と厚焼き玉子を盛り合わせました  
煮しめ盛り・木の芽南瓜と高野豆腐、たけのこの三点盛りです  
青菜の柚子浸しと数の子添え  
デザート

## 今月の行事

デイ お誕生日会 1/5(木) 1/13(金) 1/18(水)  
おしるこを飲もう！ 1/14(土)  
2階 おしるこを飲もう！！ 1/11(水)  
3階 新年会&お誕生日会 1/15(日)  
4階 お正月の遊び(月間を通じて)  
5階 甘酒の会 1/17(火)  
6階 おしるこを飲もう！！！ 1/20(金)  
ほくほく焼き芋を食べる会 1/27(金)



移動美容室「クランチケア」さんがいとうの  
杜に来ます。  
1月 30日(月)



ご希望の方は各フロアスタッフまで！！

いとうの杜新聞では、皆様のご意見や投稿など募集しております。

皆様と一緒に楽しい紙面づくりをしていきたいと思います。皆様のアイディアお待ちしております！

〒414-0002 伊東市湯川 288番地9  
「いとうの杜新聞」編集部 まで

電話 0557-35-4165  
FAX 0557-35-4101

